

神奈川県立湘南支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を次の通り開催しました。

審議会等名称	令和7年度 第3回湘南支援学校運営協議会		
開催日時	令和8年2月20日(金) 15:00~17:00		
開催場所	湘南支援学校 会議室		
出欠席者	学校運営協議会委員出席8名、欠席1名、事務局(本校職員:出席10名)		
次回開催予定	令和8年5月下旬ころ ※調整中		
問合せ先	神奈川県立湘南支援学校 副校長 比留川 はるか 電話:0463-34-7244 FAX:0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	公開を概要とした理由	
審議・回議経過	<p>開会</p> <p>委員1 ○会長挨拶 本年度のご報告に感謝し、皆様からの感想・意見をお聞きしていきたいと考えています。インフルエンザ、コロナ、ウイルス性胃腸炎の流行により、小学校の学級閉鎖が相次いでいます。施設内でも健康状況の課題が多い状況です。また、新政権の積極的な財政政策に期待する一方、物価高騰・賃金上昇への対応、福祉業界と一般産業の処遇格差改善、そして人材の確保・定着・育成が喫緊の課題となっています。労働人口減少への対応も急務です。学校では働き方改革を含め、教職員の負担は大きく、社会から求められる条件と現場の実情にギャップがあります。学校運営協議会として、委員の多様な意見を集約しながら、より良い湘南支援学校の発展に向けて取り組んでいただければと思います。</p> <p>委員2 ○学校長挨拶 インフルエンザが複数の学年で発生しており、学級閉鎖もありました。また、最近の大雪の影響で道路の流通が大幅に悪化し、スクールバスの運行に大きな遅延が生まれました。お迎えで待っている保護者の方には、学校連絡アプリで、10分ごとにバスの位置をお知らせするなどして配慮をさせていただきましたが、逆にバスの経路近くにお住いの保護者から、バスに水などの差し入れをしましょうか、と心遣いをいただくなど、温かいサポートを得ることができました。学校運営協議会は今日で3回目の開催となります。1回目では今後の取り組みについて説明、2回目では中間報告を実施し、本日は1年間の取り組みについて報告するとともに、来年度に向けたご意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>事務局 第3回学校評価部会 ○令和7年度学校評価アンケート結果報告 ○令和7年度学校評価(校内評価) 各グループリーダー、学部リーダーより、アンケート(自由記述)考察も含めて報告した。</p> <p>(小学部L) 1年生から6年生までの児童たちは、それぞれの学年で多くの成長を見せており、教員の支援の成果が感じられる内容となっている。特に、コミュニケーション面で自分の気持ちを表現できるようになったことや、トイレや着替えといった身辺自立の面での成長が顕著であり、日々の支援の積み重ねが実を結んでいることがうかがえる。6年生は特に多くの記述があり、全体的に肯定的な内容が目立ち、教員の努力が実ったことを実感できるものとなっている。</p>		

(中学部 L)	<p>中学部は小学校と高等部の間に位置し、社会との接点が増える時期となる。この段階では、家庭から一歩外に出て、社会的なスキルを育むことが求められる。個別教育計画を通じて、自分の気持ちや要望を適切に伝える力が育ちつつあり、2年生の記述からもその成果が見られる。また、言語による表現が難しい生徒に対しては、カードなどの視覚的支援を活用し、安心してコミュニケーションが取れるよう工夫されている。家庭と連携し、学校で使用しているカードを家庭でも活用してもらう取り組みも進められており、保護者の協力のもと、一貫した支援が実現している。</p>
(高等部 L)	<p>学年ごとの特徴が明確になっている。1年生では自力通学や友達づくりといった初めての経験に対する期待や不安が見られ、保護者の方々も新しい環境への適応を心配されていた様子が見られる。2年生では「チャレンジ」や「頑張る」といった言葉が多く、精神的な成長が強調されている。3年生になると、社会への意識が高まり、周囲との関わりや他者の気持ちへの理解といった、より高度なコミュニケーション能力の発達が見られ、3年間の成長の集大成としての姿が浮かび上がっている。</p>
委員3	<p>○協議(各委員からの意見、質問等)</p> <p>保護者の評価は概ね高く、先生方の自己評価よりも肯定的であると感じた。進路に対する保護者の不安は大きく、満足度を高めるのは困難であるが、先生方の努力は伝わっていると評価したい。また、ICT活用に対する期待と現実のギャップについては、理想を追いすぎず現実的な活用を進める姿勢が重要であると思うので今後期待したい。</p>
委員4	<p>各学部の考察と改善案が明確に整理されており、教育活動の質の高さを実感した。保護者の自由記述からも、学校への感謝や期待が表れており、教育活動の成果があり、評価したい。一方で、中学部の回答数の少なさに対しては、その背景を探る必要性について、もう少し分析できると良いのだが。</p>
中学部 L	<p>(回答) 中学部のアンケート回収率の低さについては、担任との日常的な連携が密であるため、書面での回答が少なかった可能性があると思う。今後はウェブ回収の導入や面談を通じて、保護者とのコミュニケーションをさらに深め、活動の理解促進と意見収集に努めたい。</p>
委員5	<p>先生方のきめ細やかな対応に感心している。保護者の意見も概ね好意的であると思う。一方で、小学部3年生の一部保護者からの厳しい意見が別紙「資料5(保護者アンケート〈自由記述:小〉)」に記載があるが、学力面での不安に対して学校がどのように対応しているか知りたい。</p>
小学部 L	<p>(回答) 保護者の不安に対し、個別面談の際に特別支援学校と小学校の違いを丁寧に説明している。保護者が支援連携グループの相談面談も希望され、本人にとって今必要な支援を連携して考え、伝えている。学力向上の希望を受け止めながら、現実的な目標を共有し、スモールステップでの取り組みを提案している。</p>
委員6	<p>教職員の取組は大変素晴らしい。しかし、保護者アンケートの回収率の低下や教職員の意見の反映不足に懸念がある。教職員のメンタルケアやモチベーション維持がやはり重要であり、負担感改善が必要だと考える。</p>
委員7	<p>アンケート結果には大変共感を覚えたが、保護者の声が十分に発信されていない可能性もまだあると思う。将来への不安はあるが、本日先生方の取組を知ることができ、安心感を得られた。保護者間の意見交換の場は次年度も設けたいと考えている。</p>

委員8	<p>本年度のご尽力に深く感謝申し上げます。資料の整理や作成が丁寧であり、来年度の教育に活かされると確信している。保護者アンケートでは、個別教育計画、個別のコミュニケーション、人権教育が高く評価され、専門性の高さがうかがえる。特に個別教育計画に関しては、教員の自己効力感の向上にもつながっており、教育の質の向上が見られる。各学部の取り組みも有意義であり、家庭との連携やICT活用、社会との接点づくりなど、子どもの成長を支える実践が進んでいる。今後もこれらの成果を活かし、将来を見据えた教育の充実が期待される。</p>
委員1	<p>保護者アンケートでは、湘南支援学校の強みである丁寧なコミュニケーションや計画のきめ細かさが高く評価されている。ICTの活用も進んでいる。特にiPadの活用により、表出が難しい生徒にも新たな可能性が広がっている。また、いじめが少なく穏やかな校風や、生徒・保護者間の深いつながりも本校の特色になっている。専門性を生かした支援や仲間づくりが、子どもたちの成長と安心につながっており、支援学校が果たす役割の重要性を改めて実感した。今後も一人ひとりを尊重する教育の在り方を大切にしてほしい。</p>
委員2	<p>本校では、いじめへの対応として日々の情報共有を重視し、教職員がデイリーミーティングを通じて生徒の様子を確認し合っている。また、校長による「いじめは絶対にいけません」との繰り返しの呼びかけが、子どもたちの意識づけに寄与していると考えます。保護者との連携も進み、PTA活動を通じた対話の機会が設けられていることも、学校全体の安心感と信頼につながっている。</p>
事務局	<p>○切れ目ない支援部会報告 支援連携グループリーダーより資料の通りに報告した。</p>
事務局	<p>○防災安全部会報告 管理運営グループリーダーより資料の通りに報告した。</p>
事務局	<p>(3) 事務連絡 本日は様々な意見をいただきありがとうございました。委員の任期は1年間なので最後の会となります。1年間の委員についてもありがとうございました。記録をまとめ、3月中に送付予定です。 次年度は5月29日(金)に開催予定ですが、改めて来年の委員についてお願いさせていただく際に、併せてご連絡申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(4) 閉会</p>